



▲登別中学校による登別漁港クリーン作戦

習慣を見直すついで、 街がきれいになる

「ポイ捨ての実態」

春先、雪が解けはじめるころになると、建物の軒下や道路沿い、植樹ます、吹きだまりなど街のあちこちで、たばこの吸い殻や空き缶・瓶、ペットボトル、インスタント食品の容器などが顔をのぞかせます。

これらの原因は、『ポイ捨て』。まるで、モラルまでポイと捨てられたような、悲しい光景です。

市内でのポイ捨ての多い個所は、山間部や海岸線の道路沿いで、車の中で、飲食した包装紙や容器、新聞・雑誌などが、車窓から投げ捨てられている様子が分かります。

ポイ捨てをなくすことは、決して難しいことではありません。わたしたち一人ひとりが、少し環境への意識を高くして、習慣を見直すことで、街がずいぶんときれいになることでしょう。

ポイ捨て防止のために

●喫煙はマナーを守って！

たばこの吸い殻のポイ捨ては、火災の恐れもあり、重大なマナー違反です。屋外で喫煙される時は、携帯用の吸い殻入れを持ち歩くなど、吸い殻は適切に処理しましょう。

●自動車に乗るときは：

車内に回収容器や袋などを備え、車内で発生したごみは屋外へ捨てないようにしましょう。

車窓からごみや吸い殻を捨てると、事故や火災の原因にもなり、危険です。絶対にやめましょう。

●ごみは持ち帰りましょう

ハイキングや野外レクリエーションなどで、自分たちが出したごみは持ち帰り、地域の決められたステーションにしっかりと分別して出しましょう。



▲ごみのポイ捨て禁止啓発用ののぼり（登別市衛生団体連合会作成）

置き去りにしないで！ ペットのふんはマナー

「ペットのふん放置の防止」

ペットブームの今日、朝に、夕にわたしたちは飼い主と犬が仲良く散歩している光景に出会います。

しかし、こののどかな光景の陰で、マナーに欠ける一部の飼い主によって犬のふんが放置され、河川敷や道路、公園などが汚されています。

市は、広報紙や町内会等の回覧文書でペットの正しい飼い方をPRするとともに、犬のふんの放置に対しては、警告看板を設置するなどし、注意を促していますが、市内のあちこちから、ペットのふん放置についての苦情は絶えません。

一方、登別本町会や登別本町2町会、常盤町内会、新川第二町内会など、一部の町内会などでは、独自に警告看板を作成し、地域ぐるみで犬のふん放置の防止に努めている取り組みも行われ、改善されたという声も聞かれます。



町内会等によつて設置された犬のふん放置防止の啓発看板

ペットを飼っている皆さんは、マナーをしっかり守り、まちを汚さないようご協力をお願いします。

犬のふんの後始末を！ 簡単なふんの始末の仕方



- ① 用意するものは、ビニール袋、ちり紙（新聞紙など）
- ② まず、ふんの上にちり紙を、3枚をかぶせます。
- ③ 次に、ビニール袋の中に手を入れ、これを包むようにつかみます。



- ④ 最後に袋を裏返しにして、中へ取めます。
- ⑤ ふんは、『燃やせるごみ』として市指定のごみ袋に入れて、決められた収集日にステーションに出してください。